

新入生 55 人迎え 10 月期スタート

10 月 2 日にプレースメントテスト、3 日に入学式とオリエンテーションを行いました。入学式では、井上校長が日本語上達の方法について詳しく話をしました。

通訳には卒業生の何宜諺さん(慶応大院)、SribangpromAriya(モス)さん(芝浦工大)、AdwitiyoPramudito さん(中央大)、MichelleNadyaTanoto さん(明治大)があたりました。

55 人の新入生を迎え、合計 122 人が 4 日から 8 クラスに分かれて新学期の授業が始まりました。

在籍者の国籍別内訳は、台湾 61%、インドネシア 18%、マレーシア 8%、香港 3%、韓国 3%、タイ 3%、その他(USA、オーストラリア、ロシア、日本、マカオ)です。



↑ 新入生歓迎の挨拶をする越野理事長

28 人が修了、3 人に皆勤賞

9 月 14 日で、28 人が日本語コース(1 年、1.5 年、2 年)を修了しました。そのうち皆勤賞(1.5 年)は 3 人。陳柏均さん、唐寧さん、張維真さん(いずれも台湾)が表彰され、後援会から奨励金が贈られました。

5 人が国内で就職内定

9 月に卒業し、就職活動をしていた学生が 12 人いましたが、10 月末日現在、そのうち 5 人がすでに内定をもらいました。業種はホテルが 2 人、その他は外食チェーン店、車の貿易会社、製本会社です。友人からの紹介や、転職専門のウェブサイトで見つけました。



あま〜い ぶどうを いっぱい たべました！(いつもお世話になっている秩父の琴平農園にて)



秋の全校遠足は、秩父の自然を満喫

10 月 12 日、埼玉県の秩父で、ぶどう狩りとハイキングとバーベキューを楽しむ遠足を行いました。天気が危ぶまれましたが、何とか降られずに終えることができました。一人当たり約 1000 円、後援会からの補助を行いました。写真は、秩父の名峰「武甲山」を背に。

東京工業大学との交流会

9 月 26 日、東京工業大学の交流サークル SAGE の招待をうけて、進学科の学生 5 人が東京工業大学での交流会に参加してきました。

SAGE の大学生 6 人と大学の正門で顔合わせした後、学食で一緒に昼食をいただき、キャンパスツアーとなりました。和やかな雰囲気になったところで教室に入り、交流会開始です。

代表のロージャントンさんはマレーシアからの留学生です。大変流暢な日本語に JET の学生は圧倒されていましたが、彼の見事なコーディネート力、ファシリテート力で、話し合いはどのチームも盛り上がりしました。特にミニグループでのディスカッションでは「学生生活が終わるまでに何を実現したいのか」について活発な意見交換がなされました。

議論の進行、意見のまとめ、そして発表と流れるようにディスカッションは進み、日頃の大学での授業での取り組み方が見て取れました。お互いに実りのあるものになるように工夫がされており、JET の学生は皆さんとの交流を楽しむだけではなく、大学での授業もイメージできたと感激していました。(木村)



写真上は、東工大での交流の様子。

写真下は、登録有形文化財である 70 周年記念講堂の前で東工大の学生たちと。

学習奨励費追加受給決定

王友致さん(台湾)が、文部科学省学習奨励費の追加受給者に決定しました。これで今年度の奨学金受給者は全部で 5 人になりました。(学習奨励費 3 人、高山国際教育財団奨学生 2 人)

山口先生の初インドネシア出張記

9 月 28 日、キラキラの国、インドネシアに到着した。キラキラ(Kira-Kira)とは、インドネシア語で、「だいたい」の意味。人生初めてのインドネシアである。

まずは、スラバヤで仕事。タクシー運転手と料金交渉をしてホテルへ。さっそく名物の渋滞にはまり、英語ができない運転手のとなりで笑顔だけの 1 時間半、約 1500 円の旅。時間的に考えると安い。距離はさっぱりわからない。道なき道を右へ左へと走ってくれた運転手さん。まっすぐ走ったほうが実は速かったんじゃないかと思うのだが、まあ、ここはインドネシア。キラキラ速いと信じよう。

ホテルに着き、すぐにアイルランガ大学へ。ホテルのフロントに頼んで料金交渉も OK。

さあ、出発。。。したが、いつまでたっても着かない。なんと、頼んであった場所とは違うキャンパスに連れていかれてしまった。「ああ、ごめんね〜。間違えちゃったみたいね。すぐ正しいところに連れていくから。」と笑顔の運転手さん。すぐに連れていってくれたが、時間は予定より 30 分オーバーした。でも、運転手さんはもちろん、約束をしていた大学の先生もあまり気にしてない様子。「あ〜そうですか。間違えましたか。そういうことありますね。」と一言。そしてそのあと、5 人の先生方が約 2 時間、次々と私の話の相手をしてくださった。

仕事のあと少し時間があつたのでトゥグバラワンという観光地へ。タクシーで行くと、降ろしてくれたところは 8 車線ほどはある大きな道の目的地反対側。さて、どうやって渡るのか。信号なんてどこにもない。困っていたら笑顔で運転手さんが下りてきて「行くよ!」と言いながら手をつないで渡ってくれた。

とにかく、インドネシアの人たちはみんな笑顔だった。そして親切。人懐っこい。聞くところによるとインドネシア人は人生の 3 分の 1 は車の中で過ごしていると言われるぐらいいつも渋滞に巻き込まれているらしい。でも、そんな渋滞も気にしない。渋滞の車の中でも楽しくおしゃべり。

キラキラの国は、暑く、熱く輝いていた。ジャカルタは大都市。でも、東京の殺伐とした感じとはちょっと違う。どこかのんびりしていて、やっぱりキラキラ。そんなインドネシアが益々好きになり、もっともっとインドネシア人を知りたいと思った出張だった。(山口閑子✂)



↑ジャカルタでの日本留学フェア。井上校長の右は卒業生のナオミさんとアニッサさん。JET のブースを手伝ってくれました。右端は山口先生。



○8 月 30 日 野球観戦

昨年度セリーグ優勝を果たした広島と、雪辱に燃える巨人との一戦。東京ドームで 19 人が観戦しました。両チームとも必死の応援合戦に、みな驚いていました。学生からは「選手がカッコよかった!」「ホームランが見られた!」など感動の声。

元野球選手で元監督の安弘先生のナイスな解説もあり、野球を見たことがない学生も楽しんでいました。

○9 月 29 日 北区花火会

秋の花火で知られる「北区花火会」。7 回目となる今年も、越野理事長が JET の学生約 20 人を招待しました。当日は生憎の天候でしたが、間近の特等席で見る大きな花火に学生は大感激。「やっぱり北区の花火はすごい!」「初めてこんな素敵な花火を見ました〜」など、忘れられない思い出になったようです。



↑ 花火会当日は雨模様でしたが、陽気に盛り上がる JET の学生たち。

○10 月 6 日 池袋の「ふくろまつり」

湯河原国際交流協会からのお誘いで、池袋の「ふくろまつり」に 10 人が参加しました。今年湯河原でおこなわれた「やっさ踊りパレード」で、ホームステイに参加した留学生チーム(うち 3 分の 1 が JET の学生)が見事優勝したためです。この日は、ホームステイに参加しなかった学生も加わり、「やっさやっさ」の元気なかけ声とともに明るい笑顔で踊り歩く姿は、100 人近くの踊り子の中でひととき注目を集めていました。(山口)

○10 月 14 日 ホームビジット

板橋区国際交流財団が主催する日帰りのホームステイ、「ホームビジット」に JET から 11 人が参加しました。日本の家庭で週末のひと時を過ごすという貴重な体験をすることができました。

「ホームビジット」に参加して

廖 恆毅(台湾)

ホームビジットに参加するために、私は 10 月の中旬に板橋区役所へ行きました。そこで松浦さんと会いました。挨拶をした後で、私と友達は、自分のことについて話し始めました。学校の先生以外の日本人の方と話すのは、珍しいことなのでちょっと緊張しました。そして松浦さんの家へ行きました。皆でお菓子を食べながらボードゲームをしました。ゲームの途中で松

浦さんが日本の文化と知識を教えてくださいました。私たちは話し込んで、つい時間が経つのを忘れました。夕食は松浦さんのご主人の自慢のたこ焼きでした。私は海鮮が食べられないので、松浦さんはソーセージとチーズを用意してくれました。

娘さんと一緒にたこ焼きを作って、とても楽しかったです。松浦さんのおかげで、日本人の家へ行くのは楽しいと初めて思いました。もし機会があったら、皆さんもこのようなイベントに参加してみてください。

大学生との交流会

○9 月 13 日 明治大生などによる国際交流サークル「生粋」と東京女子大の学生 8 人を、B、D、H の 3 クラスに招いて交流授業を実施しました。(下の写真は B クラスでの様子)



○10 月 11 日 早稲田大学の国際交流サークル WIC による「日本教室」に 30 人(ほとんどが初級クラスの新入生)が参加し、日本のアニメや漫画について語り合いました。上手に説明できるのか、引率教師としてはドキドキでしたが、さすがは JET の学生。きちんと自己紹介をして、好きなアニメや漫画について積極的に話していました。「いろいろな人と話せた」「友達ができた」「知らないアニメを教えてもらった」など、とても充実していたようです。(岡田安弘)



早大のシンボル、大隈講堂前で記念写真。井上校長と安弘先生が引率しました。

○10 月 14 日 大学生の国際交流団体 SNIE 主催のバーベキューイベントに 4 人が参加しました。多摩川の河川敷で行われました。

○10 月 25 日 WIC の「日本教室」に 5 人が参加。この日の話題は「ハロウィーン」でした。

北区の短期国際交流

7月下旬から9月下旬にかけて、JET から7人が、それぞれ北区内の保育園、児童館、福祉園で短期国際交流員としてボランティア活動をしました。

♪ ♪ ♪

よみがえる思い出

Chung Sim Peng(マレーシア)

一番おもしろかったことは、食事のときのことです。子供たちがみな教室で席に座り、それぞれの前に食べ物を置き、それから先生の合図で全員一斉に「いただきます」を言って、一緒に食べ始めます。印象に残ったことはもう一つあります。昼寝の時間、子供の背中を「トントン」したことです。みんなが眠くなって、すぐに静かになりました。昔、母親を手伝うために、三人の妹の世話をしたことを、保育園の子供たちの寝顔を見ながら、なつかしく思い出しました。

§ § §

自分で着替えられる！

梁 意潔(台湾)

保育園の子供たちはみんな私に近寄ってくれてうれしかったです。また、子供たちの日本語が私より上手で、いろいろ教えてもらいました。子供がけんかをしているとき、悪いほうの子供に謝らせるのが大切だと学びました。3、4歳の子供が自分で着替えたり、食事を一人でできるのがすごいと思いました。

Ω Ω Ω

おむつ交換に挑戦

唐 寧(台湾)

初日は2歳と3歳だけの子供のクラスで過ごしました。ゲームをして遊ぶだけではなく、おむつをかえることもやりました。これは初めての経験です。あとの5日間、5歳と6歳の子どもと過ごしました。このクラスには、中国人やマレーシア人もいます。日本は育児施設までが多文化社会だと感じました。私は子供たちにとって初めての外国人なのに、皆はテンションが高くて、すぐ仲良しになりました。活動やゲームを通じて、台湾の文化や食べ物や動物などを紹介して、さまざまな質問をされました。いい交流だったと思います。

δ δ δ

外で遊ぶ大切さ

劉 慧美(香港)

日本と香港の保育園は大違いです。香港では戸外遊びは少なく、小さいときから成績のほうを大切にしています。子供の成長は成績ではなく、運動や生命について、きちんと学ばなければならないと私は思っています。最後の三日間は大雨だったので、室内で子供と一緒におもちゃで遊んだり、本を読んだりしました。子供に「おはようございます」や「いただきます」の広東語を教えました。広東語の発音は難しいですが、子供たちの発音はとても良かったです。しかも、記憶力がいいです。毎日子供といろいろ話して、とても楽しい時間を過ごせました。最終日はこどもと離れたくないくらいでした。

μ μ μ

心がポカポカ

欧 佳妘(台湾)

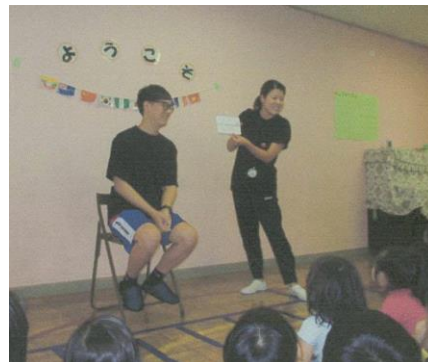
福祉園で一番感動したことは職員たちの姿勢です。施設の利用者はだいたいことばを話すことができないので、言いたいことはボディランゲージで表現します。よくわからないボディランゲージでも職員たちはすぐ答えます。さすが専門家です。この福祉園で過ごした1週間はとても貴重な経験です。今もみんなの笑顔を思い出して、私の心はポカポカしています。

ω ω ω

虫採りにびっくり

許 少瑜(台湾)

新鮮な体験と言えば、保育園の子たちが砂場で遊ぶことです。それは台湾にはないシステムです。あと一つ、子供達がみな虫採りをしていました、台湾にはそれもないです、子供達が虫を見せてくれて、ちょっとびっくりしました。



保育園の子供たちに台湾のことを教える許少瑜さん(左)

学習院大から教育実習生

10月15日から10月26日まで、学習院大学から教育実習生を受け入れました。文学部日本語日本文学科4年の森川知華さんと大木緋奈さんです。

♪ ♪ ♪

私は今回の実習で初めて日本語学校へ行きました。学生たちはみんな真面目で、真剣に授業に取り組む態度や学習意欲の高さに刺激を受け、とても充実した2週間を過ごすことができました。最初は緊張してなかなか学校に馴染めずに悩んでいましたが、学生と挨拶を交わすようになったりお話しをしたり一緒にお昼ごはんを食べたり、徐々に打ち解けることができてとても嬉しかったです。



4月からは一般企業に就職し、日本語教育とは関係のない仕事に就きますが、JETで学び、経験したことは、この先の人生を豊かにしてくれると感じています。本当にありがとうございました。(森川知華)

#

私が実際に教壇に立って一番印象に残っていることは、学生の視線です。実際に授業をすると学生の反応が予想と違ったり、うまく伝えられなかったりすることもありましたが、それでも学生は理解しようとしっかり見てくれて、熱心な姿勢を肌で感じました。授業中だけでなく授業以外のときにも積極的に質問していたり、新しく知った言葉をメモしたりする学生の姿を見て、自分ももっと勉強しなければと思いました。また、先生方も常に学生のことを考えながら向き合い、笑顔でコミュニケーションをとっていたことがとても印象的です。JETでの教育実習は、私にとってかけがえのない経験になりました。(大木緋奈)



「目的地主義」の人生でいいの?

マリア・イグナティア(インドネシア)

私が日本語能力試験 N2 を受けたとき、ある問題文が気になりました。それは「読解」の 63・64・65 番です。話の内容は、昔の小中学生は遠足や修学旅行のとき、車窓の風景を真剣に眺めていたが、最近の小中学生は乗り物の外を眺めないで、バスの中ではマイクをにぎって歌に夢中になっている、というものです。これは小中学生だけではなく、私たち大人でもこういうことをよくします。筆者はそれに「目的地主義」と名前を付けます。

最近の人々の考えでは、旅は目的地に着いてからはじまります。目的地に到着するまでの時間は、無駄な時間を感じられているため、歌を歌ったり、ゲームをしたりします。新幹線や飛行機で旅をするときの途中は退屈に感じられます。とくに飛行機で行くとき、途中で何もありませんから、私たちは、目的地主義になってしまうようです。それは仕方ないからいいですが、恐ろしいことは、私たちの人生に対する態度が目的地主義になってしまうことです。

私たちの人生は「道中」が大事だと思います。私はその問題文を読んだあと、目が覚めました。以前も、私のクラス担任の山口先生が「みんなどうしてそんなに急ぎますか。ゆっくりでもいいですよ。たくさん学べることがあるから。」と言いました。以前の私自身も、実は早く JET を卒業したい、早く大学に行きたいと意識し目的地主義になっていました。

皆さんはどうですか? 大学に入るつもりの人たちや仕事をするつもりの人たちは、今 JET で勉強する時間はどの時間だと思いますか? ただバスの中での退屈な時間だと思いますか? 目的地は大学だから大学に入ってから人生をはじめる、仕事ができたら人生を始めるといった考え方は、ちょっと寂しいと思います。

人生に大切なことは結果だけでなく、過程もとても大切だと思います。なぜかという、いい結果が出るためには適切な過程が必要です。道中で私たちはいろいろなことを学びます。その経験から私たちは毎日少しずつ前に進みます。たとえば、目的地が大学なら、今はただの日本語の勉強だと思ってそんなに勉強する必要はない、大学に入ってから勉強を頑張ると考える人は本当にいい大学に入れるでしょうか。または、日本で就職するつもりの人たちなら、今はただ日本語の勉強だと思って授業を重視せず、日本語がなかなか上手にならなくて、本当に仕事を見つけれられるでしょうか。

もし皆さんの中に、今の時間は無駄な時間と思う人がいたら私は賛成できません。大学に行く皆さんや、就職をする皆さんなども、今の時間は第一歩だと思います。皆さんは無意識のうちに、ここでただの日本語の勉強だけではなく、人生のことや考え方なども少しずつ学んできたと思います。

要するに、私たちは今も人生の旅をしているのです。どんな目的であっても、それを達成するための時間や方法は大切にしたいと思っています。

新任教師からのメッセージ

10 月期から JET の教師陣に加わった山下先生と齋藤先生から、JET の学生へのメッセージです。

♪ ♪ ♪

◎ 山下なつみ 先生

神奈川県横浜市の出身です。学生時代はソフトボールに熱中し、今は野球が大好きです。横浜ベイスターズのことを語らせたら、うるさいです。海外の文化に触れるのが好きで、語学留学を経験しました。留学で得られた経験は私の宝物となっています。日本語でコミュニケーションがとれる楽しさを、みなさんと共有したいと思っています。宜しくお願いします。



◎ 齋藤千尋 先生

東京都出身の 30 歳です。息子が 1 人います。東京の大学を卒業し、テーマパークやホテルなど、接客業の仕事をしました。東京と千葉県の県境に住んでいます。働きながら演劇学校に通い、卒業後は舞台役者として活動したり、ショーの MC をしたりしました。エンターテインメントが大好きです。いっしょに楽しく勉強しましょう。



祝 合 格

2019 年春に進学する学生たちの合格通知が届き始めました。
(10 月 31 日現在)

【大学】

☆林哲宇(台湾) 神奈川歯科大学 歯学部 歯学科

☆張書瑋(台湾) 拓殖大学 商学部 経営学科

☆IsaacValentinoLeeJunJiet(マレーシア) 東洋大学 経済学部
国際経済学科

【専門学校】

☆王友致(台湾) 東京製菓学校 和菓子本科

学 校 日 誌

9 月 5 日、7 日 チャレンジ模試

9 月 10 日 校内で専門学校フェア(QtoJAPON 主催)

9 月 10 日～11 日 期末試験

10 月 10 日 専門学校の模擬面接

10 月 19 日 よむよむ会(多読クラス)スタート

10 月 24 日、26 日 チャレンジ模試

今年度の学校行事予定

12 月 21 日(金) 大忘年会

12 月 22 日(土)～2019 年 1 月 6 日(日) 冬休み
(12 月 29 日から 1 月 3 日まで事務所休業)

2019 年 3 月 7 日(木) 卒業式

介護福祉士候補生の日本語クラス修了

2016 年 1 月から始まった、桐和会「特別養護老人ホーム川口さくらの杜」の介護福祉士候補生 4 人(インドネシア出身)の皆さんが、9 月 21 日をもって日本語の授業を修了しました。EPA(経済連携協定)によって来日した介護福祉士候補生で、JET では二期生となります。

JET での目標は、日本語能力試験(JLPT)の N2 合格と介護福祉士の国家試験問題を読み解く日本語能力をつけることです。今年の 7 月の JLPT では、あと数点というところで合格は逃しましたが、日本人スタッフや利用者の方々と十分にコミュニケーションできる日本語力をつけ、実践的な能力を身に付けました。今では、責任のある仕事や夜勤も任せられているそうです。

来年 1 月の国家試験に向けて、そして長期的には看護師の国家試験も視野に入れ、働きながら頑張っています。(木村晴美)



↑ 修了生全員(前列)の国家試験合格を祈念して、木村先生(後列右から 2 人目)と田中先生(後列左)が、手作りのお守りをプレゼントしました。「8200」と書かれたものは、田中先生が毎年出場しているウルトラマラソンで自己ベストを出した時(今年)の「粘りのゼッケン」です。候補生 4 人が最後まであきらめずに目標を達成できるようにとの願いを込めて、このゼッケンの切れ端をお守り袋に入れました。お守り袋は木村先生の手縫いです。

2018 年度後期の日本事情

- ★「歌えラララ」①11 月 9 日～12 月 14 日 石津先生
- ★「歌えラララ」②11 月 19 日～12 月 14 日 岡田安弘先生
参加希望者が多いため、2 班に分かれました。みんなの好きな日本の歌を歌いながら、日本語を学びます。最終日は合同でカラオケ大会です。
- ★「絵てがみを書こう」12 月 7 日～1 月 25 日 岡田亜子先生
季節感あふれる絵に、気の利いた日本語を添えたカード作りを楽しみます。
- ★「よむよむまんが」1 月 11 日～2 月 8 日 大塚先生
1 月 25 日には、プロの漫画家の加藤屋大吾先生を特別講師にお迎えして、ワークショップを開きます。

渋谷のハロウィン

ティファニー・カリサ(インドネシア)

ハロウィンとは、毎年 10 月 31 日に行われる祭りで、子供たちが仮装して近くの家々を訪れてお菓子をもらったりします。

日本も最近ハロウィンを楽しむようになりました。でももともと日本の文化ではないため、やっぱり楽しみ方は違います。

日本でよく見かけるのは商品のスペシャル版とか、ゲームのイベントとかです。ですが、最近の人気は、渋谷でコスプレをすることです。可愛い衣装から怖い衣装まで様々なコスチュームを着ている人が見られます。

私の国ではハロウィンのイベントはほとんどないですから、せっかくなので日本のハロウィンを楽しみたいと思っていました。

渋谷に着いたとき、思ったよりも込んでいて、すごくびっくりしました。私はよくいろいろなイベントに行くのですが、その日は想像以上に人が多かったです。

普段私は、コスプレする人をコスプレイベントでしか見る機会がありません。もともと私はコスプレに興味があるので、大勢の人たちが一緒にコスプレして楽しんでいる様子を生で見られるのはとてもうれしかったです。

でも残念なことに、時々ナンパやセクハラをする人たちもいるらしいです。来年はもっと安心してハロウィンを楽しめるように願っています。もう一度友達と一緒に渋谷へ行きたいです。



仮装して渋谷に繰り出す JET の学生たち。

後援会会費納入のお願い

JET 日本語学校後援会は奨学金・学習奨励金の給付等を通じて、本校で学ぶ学生達を支援しています。校内スピーチ大会での賞品の一部、遠足等の学校行事に対する補助金は、後援会からの支出によるものです。

本校の教育事業にご賛同いただける方は、会費を納入していただければ幸いです。

年会費:3000 円 賛助会費(一口):2000 円

郵便為替口座番号:00140-1-101927

JET 日本語学校後援会

★ ★ ★

海外からのお振込みの場合は、手数料のかからない決済代行サービス flywire をご利用いただけます。

<https://www.flywire.com/pay/jet-academy/>

2018 年度後期の就職セミナー

- 10 月 15 日 ガイダンスと就活体験談
- 10 月 22 日 草塩先生による自己分析講座
- 11 月 5 日 就活のプロの講師をお迎えして面接講座
- 11 月中旬 東京商工会議所北支部のご協力で、企業経営者との意見交換会を予定